

FTPSRVOCXneo

WILL

株式会社ウィル

白紙ページ

白紙ページ

- Microsoft、Windows、Windows NT、Visual Basic、ActiveX、Office、Access、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国ならびに各国における登録商標です。
- その他本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標又は登録商標です。

目次

はじめに.....	3
商品に含まれるもの.....	5
動作環境について.....	5
インストール.....	6
ライセンスの登録.....	8
サンプルを見る.....	11
サポートについて(無償).....	12
バージョンアップについて.....	13
再配布について.....	15
プログラミング概要	16
サービスを開始する.....	19
サービスを終了する.....	19
FTP セッション.....	19
LOGIN 処理.....	19
LOGOUT 処理.....	19
その他のコマンド処理.....	20
転送用イベント.....	20
応答メッセージ(ReplyMsg).....	21
状態遷移図	22
プロパティ	26
TimeOut プロパティ.....	28
RemoteIP プロパティ.....	29
メソッド	30
StartFtpd メソッド.....	32
StopFtpd メソッド.....	33
イベント	34
Command イベント.....	36
CommandLOGIN イベント.....	37
CommandQUIT イベント.....	38
Connected イベント.....	39
DisConnected イベント.....	40
IsTimeOut イベント.....	41
Trace イベント.....	42
TransEnd イベント.....	43
TransRecv イベント.....	44
TransSent イベント.....	45

TransStart イベント.....	46
Winsock エラーコード	48
サンプル	52
FTP SERVER.....	54
索引	56

はじめに

はじめに

白紙ページ

商品に含まれるもの

1. CD-ROM
 - ・ ftpsrvocx.exe
 - ・ readme.txt
 - ・ レジストリファイル

2. 使用許諾契約書

動作環境について

■対応 OS

FTPSRVOCXneo は、以下に示す OS で動作確認を行っております。

Microsoft Windows XP、Microsoft Windows 2003

■開発に必要なソフトウェア

FTPSRVOCXneo をご使用いただくには、以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

Microsoft Visual Basic Ver 6.0

Visual Studio .NET 2002／2003 日本語版

Visual Studio 2005 日本語版

Visual Studio 2008 日本語版

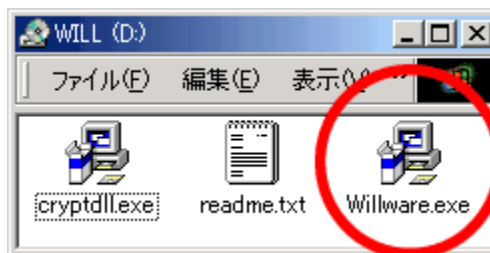
Visual Studio 2010 日本語版

FTPSRVOCXneo は、Microsoft Visual Basic Ver 6.0 で作成しています。サンプルは、Microsoft Visual Basic 2010 で作成しています。

※ 本製品は日本語環境のみの対応となります。

インストール

製品の CD-ROM に含まれているセットアップキット (ftpsrvocx.exe) をダブルクリックします。

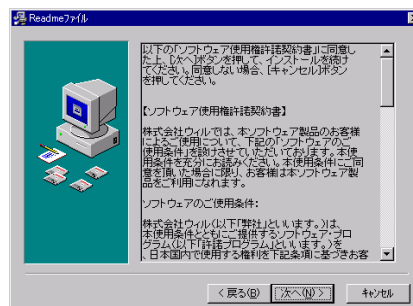


画面にしたがって、インストールを進めて下さい。

1. インストールを始めます。「次へ」をクリックして下さい。



2. 使用許諾契約書です。内容に同意される場合は「次へ」をクリックして下さい。



3. インストール先のフォルダを指定します。初期設定でよろしければ「次へ」をクリックして下さい。別のフォルダを指定したい場合は「参照」をクリックし、フォルダを指定して下さい。



4. インストール中に置換されるファイルのバックアップを作成できます。そのバックアップファイルの保存先フォルダを指定します。初期設定でよろしければ「次へ」をクリックして下さい。



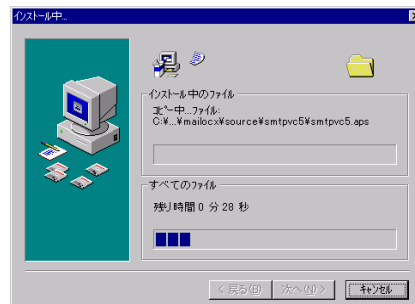
5. WILLWARE Components を登録するスタートメニュー又はプログラマナーのグループフォルダを指定します。初期設定では、新規に「WILLWARE Components」の名前でフォルダを作成します。特に指定する必要がなければ、初期設定をお勧めします。



6. プログラムのコピーを開始します。「次へ」をクリックして下さい。



7. プログラムのコピーをしています。中断する場合は、「キャンセル」をクリックして下さい。



8. インストールが完了しました。「完了」をクリックし、インストールを終了して下さい



はじめに

ライセンスの登録

■レジストリファイルから登録する

ライセンスを登録します。製品に含まれている CD-ROM のレジストリファイル (ESXXXXXXXXX.reg) をダブルクリックして下さい。(「XXXXXXXXXX」は、任意の数字がファイル名として付けられています。)

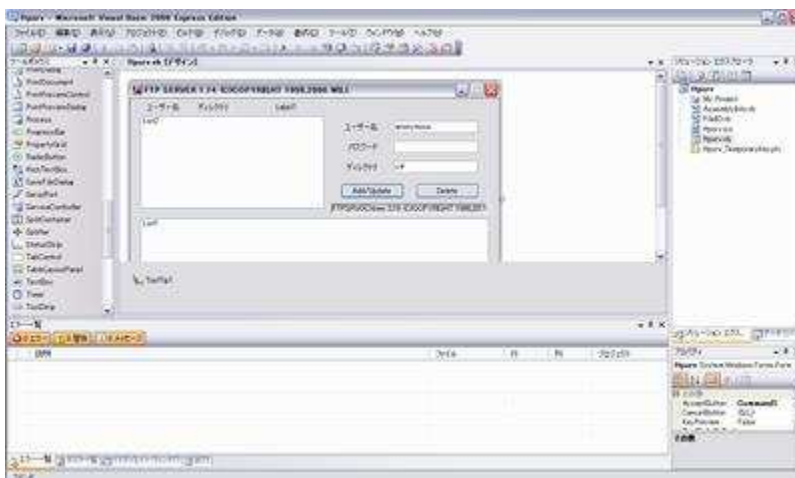


以下のメッセージボックスが表示され、ライセンスがレジストリに登録されます。



■手動で登録する

あらかじめ電子メールで通知しているライセンス情報を利用してライセンスを登録する等、レジストリファイルを利用しない場合は、VisualBasic 起動後に新規プロジェクトを選択し以下のデザイン画面を開きます。



ツールバーの「ツール」から、「ツールボックスアイテムの選択」を選択します。次に「COMコンポーネント」タブの一覧から FTPSRVOCXneo.ftpd を選択して「OK」をクリックすると、FTPSRVOCXneo がツールボックスに追加され、アイコンが表示されます。



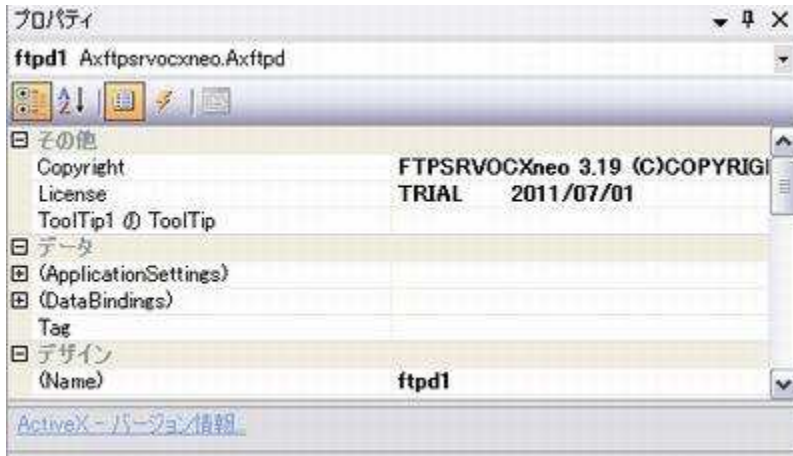
ツールボックスに追加された FTPSRVOCXOCX を選択し、フォームにアイコンを貼り付けると、以下の「WILL LICENSE REGISTRATION」画面が表示されます。ここで、ユーザー名、シリアル番号、キーコードをそれぞれ入力してライセンス登録を行います。



はじめに

■トライアルライセンスから正規ライセンスへの移行

既にトライアルライセンスが登録されている場合には、デザイン画面にあるFTPDRVOCXneoのプロパティで「バージョン情報」をクリックして下さい。



「WILL LICENSE REGISTRATION」画面が表示されますので、ここで正規ライセンスを入力して下さい。



■ライセンス入力時のご注意

※ライセンスが入力できない!?

入力したライセンスにスペースが含まれていないか確認して下さい。(ライセンスに、スペースは使用していません。)

※登録したライセンスを認識しない!?

ライセンスを登録しても、オブジェクトが新規ライセンスを認識していない場合は、FTPDRVOCXneo のアイコンを少し動かして下さい。この作業により、オブジェクトにライセンスが記憶されます。

※トライアルライセンスで作成したアプリケーションはどうする!?

既にトライアルライセンスで作成したアプリケーションは、正規ライセンスを登録した後、再コンパイルする必要があります。

サンプルを見る

インストールが完了すると、スタートメニューに「WILLFTPSRVOCXneo」が追加されます。



「WILLFTPSRVOCXneo」には VB6 のサンプルソースと VB.NET2010 のサンプルソースがあります。ソースを開くには開発環境と OCX のライセンスが必要です。トライアルライセンス又は、正規ライセンスを登録してご利用下さい。(ライセンスの登録方法は前項の「ライセンスの登録」をご覧ください。)

はじめに

サポートについて(無償)

サポートは基本的に電子メールで受け付けております。サポートは無償でご利用いただけます。

■お問い合わせの前に

サポート作業を円滑に行うために、お問い合わせの際には以下の情報をご用意下さい。

1. 製品名及びバージョン
2. 開発環境(OSの種類及びバージョン、サービスパッケージの種類)
3. 開発ツール及びバージョン
4. サーバの種類
5. 問題点
 - (1) エラー内容又は、エラー状況のハードコピー
 - (2) 問題点となる部分のサンプルソースコード。

■FAQ

弊社ホームページの「サポート」のページで、キーワードを入力して FAQ を検索できます。休業日などサポートの対応が遅れる場合もありますので、まずはこちらをご確認下さい。

■お問合せ先

<http://www.will-ltd.co.jp/>

バージョンアップについて

製品のマイナーバージョンアップは、無償です。

■バージョンアップ情報の入手方法

バージョンアップの情報は、弊社ホームページの新着情報で通知し、各商品のページの更新履歴で更新内容を掲示致します。

■最新バージョンの入手方法

最新バージョンのプログラムは、弊社ホームページ(<http://www.will-ltd.co.jp/>)のダウンロードのページよりダウンロードすることが出来ます。

はじめに

■バージョンアップをする前に

各セットアップキットを利用してバージョンアップをする前に、以下のことにご注意ください。

● **WILLWARE Components(全製品用)セットアップキット**を利用してバージョンアップする場合は、古いバージョンをアンインストールしてから、最新バージョンをインストールすることをお勧めいたします。

※ アンインストールの方法は、スタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の画面で、「WILLWARE Components」を選択し、画面の指示に従って行って下さい。

● **各コンポーネント毎のセットアップキット**を利用してバージョンアップする場合は、最新バージョンをそのままインストールして下さい。古いファイルは上書きされます。

※ 弊社製品を複数ご利用いただいている場合、いずれか1つをバージョンアップしても他の製品に影響はありません。

■バージョンアップの方法

セットアップキットをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを進めて下さい。

再配布について

■作成したアプリケーションの配布時

FTPSRVOCXneo を利用して作成したアプリケーションの配布時のランタイムライセンスはフリーです。(いかなる場合も、開発ライセンスの配布はしないでください。)

■再配布時に必要な配布可能ファイル

FTPSRVOCXneo を利用して作成したアプリケーションを配布する場合には、以下のファイルを添付する必要があります。

- ・ FTPSRVneo.OCX
- ・ TCPIP.OCX
- ・ VB6JP.DLL
- ・ MSVBVM60.DLL

※ セットアップウィザードを使用する場合

FTPSRVOCXneo をインストールすると、自動的に OCX の依存ファイルが以下のディレクトリにインストールされます。

C:¥WINNT¥system32 (Windows2000, Windows2003 の場合)

C:¥Windows¥system32 (WindowsXP の場合)

セットアップウィザードを実行すると自動的にアプリケーション配布時に必要な OCX (内部で利用している OCX) と、DLL ファイルが Setup.lst ファイルに追加されます。

■著作権

- ・ FTPSRVOCX およびこれに付随するマニュアルの著作権は株式会社ウィル(横浜市)にあります。
- ・ 本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果については、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本ソフトウェアの仕様またはマニュアルに記載されている事項は予告無く変更することがあります。
- ・ マニュアルなどに記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- ・ FTPSRVOCX を利用するアプリケーションは FTPSRVOCX の著作権表示を行わなければなりません。Copyright プロパティに FTPSRVOCX の著作権を示す文字列があります。アプリケーションまたはドキュメントのいずれかにこの文字列を表示して、FTPSRVOCX を使用していることを示してください。

プログラミング概要

白紙ページ

プログラミング概要

ここでは FTPSRVOCXNEO の使い方の概要を述べます。メソッド、プロパティ、イベントの具体的な説明は、それぞれの項で説明していますので適宜参照してください。

FTPSRVOCXNEO は、FTP サービスを提供するサーバーを構築するためのフレームワークを提供します。FTP プロトコルのハンドリングのほとんどを行います。必要に応じて、応答メッセージなどを変更することができるようになっています。データ通信に関わるプロトコルも内部で処理されます。イベントに応じて必要なデータを送受信してください。

サービスを開始する

FTP サーバーのサービスを開始するには、StartFtpd メソッドを使用します。一般に FTP サービスのポートは、21 番が使われますが、この番号を変えるには StartFtpd に引数をつけて呼び出します。既に使われているポートを指示すると、エラーになります。FTP サーバーのサービスが開始されると FTP クライアントからの接続要求を受け付けることができるようになります。

サービスを終了する

FTP サーバーのサービスを終了するには、StopFtpd メソッドを使用します。StopFtpd メソッドを使用すると、通信中の接続がすべて閉じられます。

FTP セッション

FTP セッションは、FTP クライアントからの接続要求により開始します。接続要求を受け付けると Connected イベントが発生します。このイベントをトリガーにして、FTP セッションに必要なデータを初期化してください。FTP セッションが切れると、Disconnected イベントが発生します。このイベントをトリガーにして、リソースの開放などを行ってください。

LOGIN 処理

USER 及び PASS コマンドは、FTPSRVOCXNEO 内部で処理されます。USER 及び PASS コマンドの両方を受け取ると、CommandLogin イベントが発生します。このイベントでログインを受け付けるかどうか判断してください。ログインに成功した場合は、応答メッセージを変更する必要があります。

LOGOUT 処理

QUIT コマンドを受け付けると、CommandQUIT イベントが発生します。このイベントを抜けると FTP セッションは切断されます。QUIT コマンドは常に送られてくるかどうかわかりま

せんので、セッションの終了の判断にこのイベントを利用しないでください。セッションの終了の判断は、DisConnected イベントで行ってください。

その他のコマンド処理

USER,PASS,SYST,PORT,PASV,ABOR,QUIT コマンドは内部で処理されますが、それ以外のコマンドが送られてきた場合は、Command イベントが発生します。Command イベントには、FTP コマンドとその引数がわたります。コマンドと引数を解析して、必要な処理を行ってください。FTP コマンドがデータ転送を必要とする場合、ReplyMsg に"150 "で始まる文字列を格納してください。"150 "で始まる場合、データ転送用のコネクションをはります。転送用のコネクションでの送受信は、転送用イベントにて行います。

転送用イベント

■ 送信する場合

転送用コネクションが張られると、TransStart イベントが発生します。データを送信するには、DataToSend に送信するデータを格納します。送信が完了すると TransSent イベントが発生するのでさらにデータがある場合は、DataToSend に送信するデータを格納します。送信すべきデータがなくなると、CloseFlag を True にします。CloseFlag を True にすると、データコネクションが切断されます。CloseFlag を True にしてデータコネクションが切断されても、TransEnd イベントは発生しません。

■ 受信する場合

転送用コネクションが張られると、TransStart イベントが発生しますが受信の場合はここではなにもしません。次に TransRecv イベントが発生します。ここで Data を処理します。すべての受信データがなくなるまで TransRecv イベントが発生します。すべての受信データがなくなると、TransEnd イベントが発生します。TransEnd イベントの Reason 変数にはデータコネクションが切断された理由が数値で入っています。ABORコマンドや Winsock のエラーで切断された場合は、応答メッセージを変更する必要があります。

応答メッセージ (ReplyMsg)

ほとんどのイベントに ReplyMsg という変数が引数としてわたります。これには、デフォルトの応答メッセージが格納されていますが、処理の内容に応じて変更していただく必要があります。応答メッセージのフォーマットは3桁の数字、スペースまたは“-”、メッセージ、CRLFです。3桁の数字は、応答コードといい、それぞれの桁に意味がありますが1桁目が重要で、応答の種類をあらわします。

- 1桁目が1の場合
コマンド処理中という応答です。この状態では新しいコマンドを出してはいけません。
- 1桁目が2の場合
コマンド処理が完了したという応答です。新しいコマンドを受け付けることができます。
- 1桁目が3の場合
コマンドは処理されたが、さらに別のコマンドが必要であるという応答です。
- 1桁目が4または5の場合
コマンドを処理できなかったという応答です。
- 4桁目に“-”が現れた場合
行が継続することを示します。

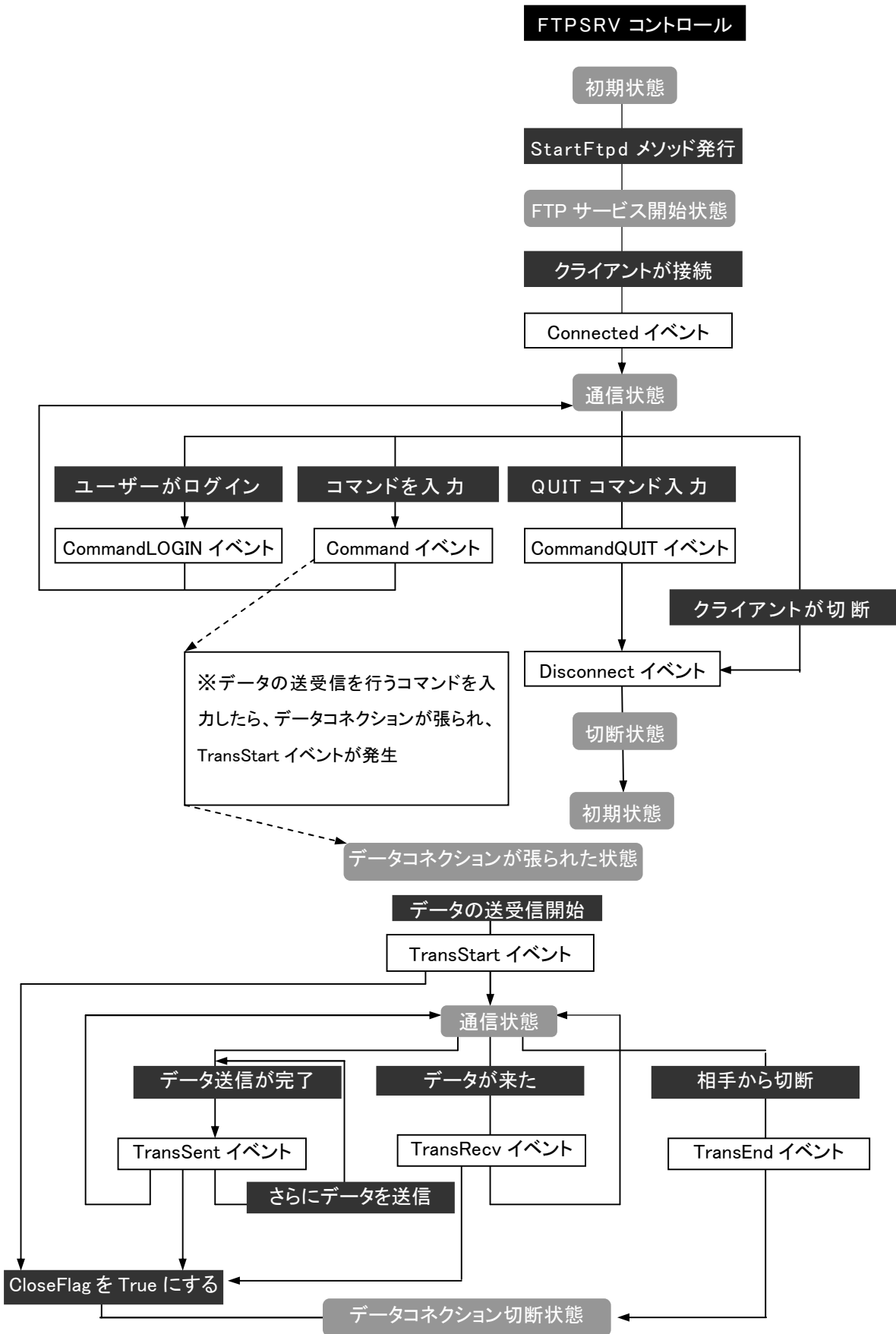
■ 応答コード

150	データコネクション開始(RETR,STOR,LIST,NLST に対する応答)
200	コマンドを正常に処理した
221	セッション終了(QUIT に対する応答)
226	データ転送成功(データコネクションを閉じる時の応答)
230	ログイン成功(PASS に対する応答)
426	転送の中断(データ転送中のエラーまたは ABOR への応答)
500	コマンドが正しくない
501	引数が正しくない
502	コマンドが実装されていない
503	シーケンスが異常
504	引数が実装されていない
530	ログインしていない
550	ファイルがない

状態遷移図

白紙ページ

状態遷移図



白紙ページ

プロパティ

白紙ページ

TimeOut プロパティ

■機 能

タイムアウトの時間を設定します。

■構 文

Object.TimeOut(Index As Integer)[=Value]

TimeOut プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。
Value	タイムアウト時間(秒)です。タイムアウトになると IsTimeOut イベントが発生します。

■データ型

長整数(Long)

RemoteIP プロパティ

■機 能

接続してきたクライアントの IP アドレスを取得します。
Connected イベント内から DisConnected イベント直前まで値を取得できます。
(取得のみ、設定不可)

■構 文

Object.RemoteIP(Index As Integer)
RemoteIP プロパティの構文の指定項目は次のとおりです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号です。

■データ型

文字列(String)

内容:ドット区切りの IP アドレス
例: "192.168.4.12"

メソッド

白紙ページ

StartFtpd メソッド

■機 能

FTP SERVER を開始します。

■構 文

Object.StartFtpd([FtpPort As String = "21"])
StartFtpd メソッドの構文の指定項目は次のとおりです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
FtpPort	FTP SERVER のポートを、数値またはサービス名で指定します。省略した場合はポート番号"21"が入ります。

■戻り値

なし。

StopFtpd メソッド

■機 能

FTP SERVER を終了します。

■構 文

Object.StopFtpd()

StopFtpd メソッドの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。

■戻り値

なし。

■解 説

新しい接続要求を受け付けなくするとともに、通信中の接続があればそれらを終了します。

イベント

白紙ページ

Command イベント

■機能

コマンドが入力された時に発生します。但し次のコマンドは内部で処理されるので発生しません。

<内部で処理されるコマンド>

USER、PASS、SYST、PORT、PASV、ABOR、QUIT、NOOP

■構文

Private Sub Object_Command

(Index As Integer, FtpCommand As String, Argument As String, ReplyMsg As String)

Command イベントの構文の指定項目は次のとおりです。

(指定項目)	(内容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。
FtpCommand	入力したコマンドが格納されます。
Argument	入力した引数が格納されます。
ReplyMsg	応答メッセージが格納されます。 初期値は、“502 command not implemented.”です。

■解説

ReplyMsg に 150 で始まる文字列を格納すると、データコネクションを張ります。データコネクションが張られるのは PORT または PASV コマンドが事前に行われている場合のみです。

CommandLOGIN イベント

■機 能

ユーザーが、ユーザー名とパスワードを入力した時に発生します。ログインを許可するかどうか決めることができます。

■構 文

Private Sub Object_CommandLOGIN

(Index As Integer, User As String, Passwd As String, ReplyMsg As String)

CommandLOGIN イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。
User	ユーザー名が格納されます。
Passwd	パスワードが格納されます。
ReplyMsg	応答メッセージが格納されます。 初期値は、“530 Login incorrect.”です。

■解 説

ログイン成功の際のメッセージは、“230 User ” & User & ” logged in.”

ログイン失敗の際のメッセージは、“530 Login incorrect.”

CommandQUIT イベント

■機 能

QUIT コマンドが入力された時に発生します。このサブルーチンを抜けると“221 Goodbye.”というメッセージを表示して FTP コントロールコネクションをクローズします。

■構 文

Private Sub Object_CommandQUIT(Index As Integer)

CommandQUIT イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。

Connected イベント

■機 能

クライアントから接続された時に発生します。

■構 文

Private Sub Object_Connected(Index As Integer)

Connected イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。

DisConnected イベント

■機 能

クライアントとの接続が切れた時に発生します。

■構 文

Private Sub Object_DisConnected(Index As Integer)

DisConnected イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。

IsTimeout イベント

■機能

タイムアウトになると発生します。通信を終了するかどうかを決定できます。

■構文

Private Sub Object_IsTimeout

(Index As Integer, CloseFlag As Boolean, ReplyMsg As String)

IsTimeout イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。
CloseFlag	コネクションを切断するかどうかを指定します。次の設定値を参照してください。
ReplyMsg	CloseFlag が True に設定された場合、この内容がクライアントに表示されます。 初期値は"421 Timeout: closing control connection."

■設定値

CloseFlag の設定値は次の通りです。

(値)	(説明)
True	コネクションを切断します。
False	コネクションは切断されません。

Trace イベント

■機 能

FTP SERVER と FTP CLIENT 間で交わされたメッセージをトレースします。Msg をリストボックスなどに表示しておくことでデバッグに役立ちます。

■構 文

Private Sub Object_Trace(Msg As String)

Trace イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Msg	トレースデータが格納されます。

TransEnd イベント

■機 能

相手からデータコネクションが切断された時発生します。受信している時は、受信データの終わりを示します。送信している時は、送信の中断を示します。

■構 文

Private Sub Object_TransEnd

(Index As Integer, Reason As Integer, ReplyMsg As String)

TransEnd イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。
Reason	切断理由が格納されます。次の定数一覧を参照してください。
ReplyMsg	この内容がクライアントに表示されます。次の定数一覧を参照してください。

■定 数

Reason の定数は次の通りです。

(定 数)	(内 容)
0	接続する前に中断されました。(この理由でこのイベントは発生しません)
1	相手が切断しました。
2	自分から切断しました。(この理由でこのイベントは発生しません)
3	ABOR コマンドで中断しました。
4	Winsock エラーが発生しました。
5	コントロールコネクションが切断されました。(この理由でこのイベントは発生しません)

Reason の定数に対応した ReplyMsg の初期値を示します。

(定 数)	(内 容)
1	"226 Transfer complete."
3	"426 Connection closed; transfer aborted." & vbCrLf & "226 ABOR command successful."
4	"426 Connection closed; transfer aborted."

TransRecv イベント

■機能

データを受信した時に発生します。受信を中断するには、CloseFlag を True にしてください。

■構文

Private Sub Object_TransRecv

(Index As Integer, Data() As Byte, CloseFlag As Boolean, ReplyMsg As String)

TransRecv イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。
Data	受信したデータが格納されます。
CloseFlag	データコネクションを切断するかどうかを指定します。次の設定値を参照してください。
ReplyMsg	CloseFlag が True に設定された場合、この内容がクライアントに表示されます。 初期値として、“226 Transfer complete.”が格納されています。

■設定値

CloseFlag の設定値は次の通りです。

(値)	(説明)
True	データコネクションを切断します。
False	データコネクションは切断されません。

TransSent イベント

■機 能

データの送信が完了した時に発生します。さらにデータを送信する時は、DataToSend に送信するデータを格納します。送受信を終了するには、CloseFlag を True にします。

■構 文

Private Sub Object_TransSent

(Index As Integer, DataToSend() As Byte, CloseFlag As Boolean, ReplyMsg As String)

TransSent イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内 容)
Object	FTPSRVOCXNEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。
DataToSend	送信する場合は、この変数に値を入れてください。
CloseFlag	データコネクションを切断するかどうかを指定します。次の設定値を参照してください。
ReplyMsg	CloseFlag が True に設定された場合、この内容がクライアントに表示されます。 初期値として、"226 Transfer complete."が格納されています。

■設定値

CloseFlag の設定値は次の通りです。

(値)	(説 明)
True	送信せずにデータコネクションを切断します。DataToSend に値がある場合でも切断されます。
False	データコネクションは切断されません。

TransStart イベント

■機能

データの送受信が開始した時に発生します。データを送信する時は、DataToSend に送信するデータを格納します。送受信を終了するには、CloseFlag を True にします。

■構文

Private Sub Object_TransSent

(Index As Integer, DataToSend() As Byte, CloseFlag As Boolean, ReplyMsg As String)

TransSent イベントの構文の指定項目は次の通りです。

(指定項目)	(内容)
Object	FTP SRV OCX NEO オブジェクトです。
Index	クライアントを区別する番号が格納されます。
DataToSend	送信する場合は、この変数に値を入れてください。
CloseFlag	データコネクションを切断するかどうかを指定します。次の設定値を参照してください。
ReplyMsg	CloseFlag が True に設定された場合、この内容がクライアントに表示されます。 初期値として、"226 Transfer complete." が格納されています。

■設定値

CloseFlag の設定値は次の通りです。

(値)	(説明)
True	送信せずにデータコネクションを切断します。DataToSend に値がある場合でも切断されます。
False	データコネクションは切断されません。

白紙ページ

Winsock エラーコード

白紙ページ

Winsock エラーコード

10004	システムコールの割り込みが発生
10009	無効なソケット番号を指定した
10013	アクセスが拒否された
10014	間違ったアドレスを指定した
10022	無効な引数
10024	開いているファイル数が多すぎる
10035	ブロッキングモードなら操作がブロックした
10036	ブロッキング処理中に別の API を呼び出した
10037	非ブロッキング処理中に同じ API を呼び出した
10038	ソケット以外に対してソケット操作が行われた
10039	宛先のアドレスが必要
10040	メッセージが長すぎる
10041	ソケットに対するプロトコルの種類が不正
10042	プロトコルが使用できない
10043	プロトコルがサポートされていない
10044	ソケットの種類がサポートされていない
10045	操作がソケットでサポートされていない
10046	プロトコルファミリがサポートされていない
10047	アドレスファミリがサポートされていない
10048	アドレスがすでに使用中
10049	要求されたアドレスを割り当てられない
10050	ネットワークが落ちている
10051	ネットワークが到達できない
10052	リセットによりネットワーク接続が落とされた
10053	ホスト内部で接続を中断した
10054	相手が接続を強制的に切った
10055	利用可能なバッファスペースが存在しない
10056	ソケットがすでに接続されている
10057	ソケットが接続されていない
10058	ソケットの遮断後であるため送信できない
10059	参照数が過大: 結合不可能
10060	時間切れで connect または send に失敗した
10061	接続が拒否された
10062	シンボリックリンクが多すぎる
10063	ファイル名が長すぎる
10064	ホストが落ちている
10065	ホストへの到達経路が存在しない
10091	ネットワークサブシステムが使用不能
10092	Winsock がサポートしていないバージョンを指示した
10093	Winsock が初期化されていない
10101	接続が切れている
11001	ホストが見つからない
11002	やり直し可能なエラー
11003	回復不可能なエラー
11004	データがない

白紙ページ

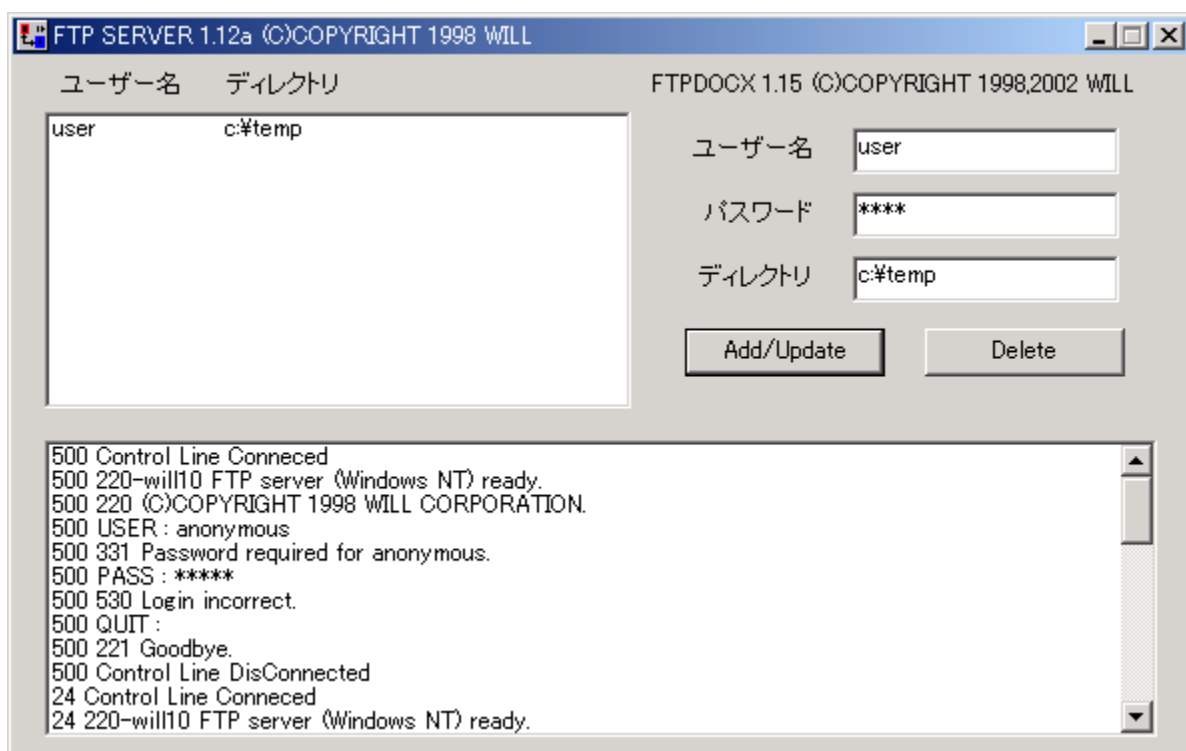
サンプル

白紙ページ

FTP SERVER

(Ver1.12a)

FTP SERVER は、FTPSRVOCXNEO を用いた本格的 FTP サーバーのサンプルプログラムです。サーバーに接続を許可するユーザーと、そのユーザーに開放するディレクトリを指定することができます。ユーザーは指定されたディレクトリ以下のファイルしか参照することはできません。ユーザー毎に異なるディレクトリを開放することができますので、セキュリティに優れたファイルの公開が可能です。



■使い方

- **ユーザー名**
サーバーに接続を許可するユーザー名を指定します。
- **パスワード**
指定したユーザーがログインする時のパスワードを指定します。
- **ディレクトリ**
ユーザーに開放するディレクトリを指定します。

設定後、「Add/Update」ボタンでリストボックスの中に追加し設定を保存します。「Delete」ボタンでリストボックスの中から削除し、設定を削除します。

白紙ページ

索引

CommandLOGIN イベント.....	37
CommandQUIT イベント.....	38
Command イベント.....	36
Connected イベント.....	39
DisConnected イベント.....	40
IsTimeOut イベント.....	41
RemoteIP プロパティ.....	29
StartFtpd メソッド.....	32
StopFtpd メソッド.....	33
TimeOut プロパティ.....	28
Trace イベント.....	42
TransEnd イベント.....	43
TransRecv イベント.....	44
TransSent イベント.....	45
TransStart イベント.....	46

白紙ページ

FTPSRVOCXNEO マニュアル

2011年5月 10日 初版 第1版

発行所 株式会社ウィル

<http://www.will-ltd.co.jp/>

本紙の内容を許可なく複写、転載、データファイル化することを禁じます。

本紙の内容に関するご質問は、上記のメールアドレス宛にお問い合わせください。

(C)Copyright 1998-2011 WILL Corporation. All rights reserved